

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名	幼児フッ化物塗布事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 東 亜紀
	基本事業	44	病気の早期発見	所属班	健康推進班	(内線) 2167
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	4	1	6	10373			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 平成13 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)  
 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 フッ化物塗布を実施することにより、効果的にむし歯を予防する事業  
 ①1歳6ヶ月児健診・3歳児健診時に実施。お口の健康手帳・母子手帳持参。料金は無料。②1歳6ヶ月児健診時に事業のお知らせを行う。③実施回数:1歳6ヶ月児健診後より3歳児健診までに(3~4ヶ月毎)計6回  
 【業務の流れ】  
 1歳6ヶ月児健診時にフッ化物塗布事業についての説明を行い、お口の健康手帳・塗布券を渡す。1歳6ヶ月健診・3歳児健診時に同時実施。歯科衛生士より塗布。塗布時のアンケートの整理・入力。  
 【主な予算費目】  
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 1歳6ヶ月児健診時にフッ化物塗布事業についての説明を行い、お口の健康手帳を渡す。1歳6ヶ月健診・3歳児健診時に同時実施。歯科衛生士より塗布。塗布時のアンケートの整理・入力。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 1歳6ヶ月児健診時にフッ化物塗布事業についての説明を行い、お口の健康手帳・塗布券を渡す。1歳6ヶ月健診・3歳児健診時に同時実施。歯科衛生士より塗布。塗布時のアンケートの整理・入力。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	1歳6ヶ月~3歳児	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)人 ア 塗布者数(再掲) 人 イ 開催回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	むし歯にならないようにする(う歯の保有率の低下)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)人 ア 1歳6ヶ月~3歳児の数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	健全な生活習慣を身に着ける	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)% ア 3歳児のむし歯の保有率 % イ 病気予防のためにならんかの運動をしている市民の割合 %
⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)% ア 栄養のバランスを考えて3度の食事を取っている市民の割合 % イ 病気予防のためにならんかの運動をしている市民の割合 %		

(2) 総事業費・指標等の推移												
投入量	事業費	国庫支出金	千円									全体計画 ~ 年度  (期間限定複数年度の記載) 総トータルコスト  目標合計値 年度
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源	千円	330	273	169	95	138	138	138	138		
	(A) 事業費計	千円	330	273	338	190	236	238	238	238		
	うち指定経費	千円										
	うち時間外、特殊勤務手当	千円										
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	1	1	1		
延べ業務時間	時間	390	390	390	280	390	390	390	390			
(B)人件費計	千円	1,548	1,552	1,552	1,114	1,552	1,552	1,552	1,552			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,878	1,825	1,890	1,304	1,788	1,790	1,790	1,790			
活動指標	ア 人 イ 回		521 47	1770 48	1562 48	1645 48	1745 48	1845 48	1945 48			
対象指標	ア 人 イ 人		1462	1512	1562	1540	1612	1662	1712			
成果指標	ア % イ %		26	22	20	23.97	19	18	18			
上位成果指標	ア % イ %		86.1 42	89.7 43.4	86.4 46	86.8 39.9	86.7 48	87 50	22 49			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等  
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 H13年度より実施している。1歳6ヶ月から3歳までのむし歯の急増する時期に、効果的なむし歯予防として、また、歯質の強化やブラッシング指導など歯についての知識を得る機会を多くする目的で実施。  
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 1歳6ヶ月児においてはう歯保有率、一人平均う歯数の上昇がやや見られている。3歳児についてはう歯保有率、一人平均う歯数共に減少している。  
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 「今後もフッ化物塗布を続けていきたい。」「フッ素は塗布したくないのではありません。」と保護者からの意見

事務事業名	幼児フツ化物塗布事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「むし歯にならないようになる」ことにより結果の「健全な生活習慣を身に着ける」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ むし歯を予防することで医療費を削減することができるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ フツ化物塗布の効果測定を行い、う歯保有率の低下を図っていく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ フツ化物塗布の機会をなくすことにより、歯科保健指導や教育の場が無くなり、さらにむし歯になりやすくなり、医療費の増加につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似した事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 幼児健診時に実施することで、合理的に実施できている。また、最小限の事業費で実施しているため削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託では事業費の増加となるため、幼児健診時に同時に実施している。スタッフはその中で対応できているため効率的である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 対象を限定しているが、予防的事業であるという目的のため適切である。また、費用負担はなく、費用負担は適正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、フツ化物塗布の効果測定を行い、う歯保有率の低下を図っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) う歯保有率の低下を図る。 フツ化物塗布の効果測定を行う。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

う歯保有率を低下していくために、予防の大切さをどのように周知していくかという課題がある。フツ化物塗布の効果測定を行うにあたり、個人の生活習慣等の関連も考慮する必要がある、純粋なフツ化物塗布の効果測定するのが難しいという問題点がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	10	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )